

Neues in Nara

Nr. 2 4 .

2 0 0 9 年 2 月 1 9 日



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara

奈良日独協会 (会長 河野良文)

奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

事務局: 加納雅之 (Tel/Fax 0742-22-3636)

“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は事務局へ”

2 - 4 月行事予定

1 . 「ドイツ環境保全展」

開催期間: 2 月 17 日 (火) ~ 3 月 8 日 (日)

会 場: 奈良県立図書情報館 2 階
メインエントランスホール

主 催: 奈良県立図書情報館

共 催: 奈良日独協会

ドイツでは、国民の 9 2 % が環境保全を重要なテーマであると考えていると言われています。一体なぜドイツで環境保全がそれほど重要視されているのでしょうか。ドイツ環境保全展では、ドイツだけでなくどこの国でも誰でもできる環境保全の例をパネル等でわかりやすくご紹介します。

2 . 大安寺源流コンサート 2 0 0 9 Spring

日 時: 第 1 回・3 月 2 9 日 (日)

第 2 回・4 月 2 9 日 (祝)

第 3 回・5 月 2 4 日 (日)

各 1 3 : 0 0 開 場 1 3 : 3 0 開 演

場 所: 大安寺本堂

主 催: Nara Stag Club (N S C)

後 援: (社) 平城遷都 1 3 0 0 年記念事業協会

協 力: 奈良日独協会

入 場 料: 1 , 0 0 0 円 (高校生以上)

前売りチケットは事務局まで。(当日購入も可)

概 要:

ドイツの様々な文化交流活動を続けている N S C が、平城遷都 1 3 0 0 年祭のイベントとして、大安寺を舞台にジャズとクラシックのコンサートを開催。第 1 回目は熟年デキシーランド・グループと郡山高校出身気鋭若手ファンキー・ジャズの共演、第 2 回目では神戸を中心に活動するアマチュア室内楽団による演奏などを予定。

3 . 全国日独協会連合会年次総会

期 日: 4 月 2 0 日 (月) ~ 2 1 日 (火)

場 所: 千葉幕張メッセ国際会議場

主 管: 千葉日独協会

当会からは近東副会長、加納副会長、上野理事が出席予定

4 . 奈良日独協会定例総会

日 時: 5 月 9 日 (土) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

場 所: 和ダイニング「花小路」(奈良市小西町)

詳細は追って連絡します。

会員だより

武舎一夫さんより「廃墟の聖母教会」と題し、投稿頂きました。

“昨年夏、奈良国立博物館で開催された「西国 33 所観音霊場の祈りと美」特別展を見てから、観音巡礼に興味を持つようになり、つい先日、青春 18 きっぷを使って、那智滝麓の一番札所の青岸渡寺に行ってきた。ご本尊の如意輪観音は秘仏のためお姿を拝見することは出来なかったが、そのお前立ちからも充分に観音様の深い御慈悲を感じ取ることが出来た。

観音巡礼というと、私は中世ヨーロッパの聖母マリア巡礼をふと思い浮かべてしまうのだが、全く歴史的・文化的背景の異なるこの二つの巡礼にはいくつかの共通点があるようだ。ともに山の麓、清水に恵まれたところにその霊場の多くがあることはそのひとつだろう。トルコ・エフェス郊外の山の中腹に晩年聖母が過ごしたと伝えられる家があるが、その前には清らかな泉が湧き出ている。イェルサレム郊外エン・カレムの聖母ゆかりのマリア訪問教会も同様の場所にあった。洋の東西を問わず、清らかな泉は慈愛の象徴なのだろう。

ところで、ドイツにも聖母マリアに捧げられた教会は数多くあるが、私にとって決して忘れることが出来ないのは、20 年以上前、東西ドイツ統一前に訪れたドレスデンにある廃墟となった聖母教会の痛ましい姿である。(左上写真)ドイツの敗戦が決定的となった 1945 年 2 月 13 日から 14 日に行われた米英連合軍の無慈悲な空爆によって、このドイツの古都は徹底的に破壊された。戦後、旧東ドイツは貧しい財政事情の中から、ツヴィンガー宮殿やゼンパーオペラなど歴史的建造物の再建を進めたが、聖母教会再建の資金的余力はなかった。しかし、東西ドイツ統一後、この廃墟の聖母教会再建の機運が盛り上がり、倒壊から 60 年後の 2005 年 10 月にかつての姿が蘇った。

私は 2005 年 9 月にドレスデンを訪れ、市中心のアウグストゥス橋から、再建されたバロック様式の聖母教会の雄姿を眺め、ドイツ人のドレスデン再建への不屈の意志に圧倒された。と同時に私は、かつて見た痛ましい廃墟の姿を懐かしく思った。これは一日本人の単なる感傷なのだろうか? 複雑な心境である。”

1 - 2 月行事報告

1 . 京阪神日独協会新年会

(1 月 1 0 日(土)、アサヒスーパードライ大阪、約 5 0 名参加)

奈良からは 8 名の会員が参加し、京阪神地区の会員らと、食事しながら親しく歓談でき、情報交換の場ともなった。開催に際し大変お世話頂いた大阪日独協会常務理事・事務局長の和田展子さん(左下写真)に感謝します。

